

業務部速報



No. 5
発行 21.7.6
JR東労組 業務部

新幹線統括本部

「2021年10月運用改正について」の提案を受ける!

本日、新幹線統括本部より「2021年10月運用改正について」の提案を受けました。詳しい内容は、下記の通りです。

1 主な事項

(1) 上越新幹線一部列車の編成変更

E4系は老朽化取替に伴い全廃となり、E7系を投入追加する。

(2) 盛岡新幹線運輸区の乗務区間一部見直し

在来線区間の乗務を秋田支社秋田運輸区へ移管する。

(3) 乗務員行路の一部変更(運転士及び車掌)

東京新幹線運輸区・仙台新幹線運輸区・盛岡新幹線運輸区・新潟新幹線運輸区

2 担務別行路数及び乗務キロ

東京新幹線運輸区・仙台新幹線運輸区・盛岡新幹線運輸区・新潟新幹線運輸区

3 変更後の標準数

箇所名		関係職 乗務
東京新幹線運輸区	標準数	156
	増減	△6
盛岡新幹線運輸区	標準数	139
	増減	△2

4 実施時期

2021年10月2日

盛岡新幹線運輸区が田沢湖線を乗務することにより様々な輸送障害の対応を行ってきた経緯があります。今後も発生する輸送障害に対して、対応できる体制を構築することが重要です!



【組合】 特徴的な議論 【会社】

■ダイヤ改正から半年で、なぜこの時期に運用改正を行うのか。

・2020年度末にE4系をE7系に置き換える計画が、2019年の台風被害により遅れた。準備が整った。

■職場の負担が大きい。なぜ運用改正を行うのか。

・E7系が順次入っているため、車両留置の限界もある。必要数が揃ったため提案した。

■盛岡新幹線運輸区が田沢湖線の乗務を秋田運輸区に移管する理由は何か。

・在来線区間の業務を分離して新幹線業務に特化したい。

■この間、新幹線と在来線の乗務を行ってきた経緯は何か。

・線区の両側に乗務員区があり、輸送障害に柔軟に対応できるように担当してきた。

■今後は輸送障害が発生した場合にどのような対応を行うのか。

・秋田運輸区でしか担当できないため運転士は折り返し変更し対応する。上りが支障した場合に下りを何本も出すことは考えづらい。

■盛岡新幹線運輸区を新幹線に特化した区所にするメリットは何か。

・在来線の教育、訓練時間を新幹線関係に特化することで技術向上になる。安全・サービスレベルの向上を図る。

安全を前提に、異常時対応に強い新幹線職場をつくるため、職場から議論をつくり出そう!